

ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン／江澤健一郎 訳

イメージの前で

Georges Didi-Huberman

Devant l'image: Question posée aux fins d'une histoire de l'art

美術史の目的への問い

ルネッサンス期以降、学問としての美術史はいかなる知の言説として確立されたのか。ヴァザーリによる人文主義的美術史の発明から、パノフスキー的イコノロジーの成立にいたる美学の歴史を、表象の裂け目に現れるフロイト的「徴候」への眼差しを通じて批判的に解体する“美術史の脱構築”。バタイユやアビ・ヴァールブルクを継承し、独自のイメージ人類学を实践する注目の美術史家の初期代表作。



「徴候」とはなにか？

ルネッサンス期以降、学問としての美術史はいかなる知の言説として確立されたのか。ヴァザーリによる人文主義的美術史の発明から、パノフスキー的イコノロジーの成立にいたる美学の歴史を、表象の裂け目に現れるフロイト的「徴候」への眼差しを通じて批判的に解体する“美術史の脱構築”。バタイユやヴァールブルクを継承し、独自のイメージ人類学を实践する注目の美術史家の初期代表作。

法政大学出版局／定価(本体4600円+税)

叢書・ユニベルシタス 971 上製・四六判／504頁／

定価 4830 円(本体 4600 円+税) ISBN978-4-588-00971-6 C1310

姉妹編『時間の前で』も本年6月刊行予定！

『美術史学』の前提をゆるがす強力な理論書。美学・芸術学・哲学分野の必読書です。

ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン (Georges Didi-Huberman)

哲学者、美術史家。1953年生(サン＝テティエンヌ, フランス)。リヨン大学で哲学の学士号を取得した後、美術史学の修士号を取得。その後、社会科学高等研究院(E.H.E.S.S.)で博士号を取得。1990年から社会科学高等研究院の助教授。日本語訳として『アウラ・ヒステリカ——パリ精神病院の写真図像集』(リブレポート)、『フラ・アンジェリコ——神秘神学と絵画表現』(平凡社)、『ジャコメッティ——キューブと顔』(PARCO出版)、『ヴィーナスを開く』(白水社)、『残存するイメージ——アビ・ヴァールブルクによる美術史と幽霊たちの時間』(人文書院)、『イメージ、それでもなお——アウシュヴィッツからもぎ取られた四枚の写真』(平凡社)がある。

(写真: 米田拓朗)



切り取って最寄りの書店にお渡し下さい

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL03-5214-5540/FAX03-5214-5542

注文書	イメージの前で 美術史の目的への問い ISBN978-4-588-00971-6 定価4830円(本体4600円+税)	書店名・番線
	▶ 2012年2月23日配本予定 (冊)	
	お名前: _____ ☎ ご住所: 〒 _____	